

地域活性化伝道師プロフィール		分野	地域産業・イノベーション・農商工連携	◎	農・林・水産業	
			地域医療、福祉・介護、教育		観光・交流	
			地域コミュニティ・集落再生		環境	
			地域交通・情報通信		まちづくり	◎
ふりがな		こいで むねあき				
氏名		小出 宗昭				
所属	名称	富士市産業支援センターf-Biz(エフビズ)				
	役職	センター長				
連絡	住所	(公開)	〒 417-005			(職場)
		(公開)	富士市永田北町3-3			
	連絡先	(公開)	E-Mail info@f-biz.jp			
		(公開)	TEL 0545-30-6363	FAX 0545-30-6364		
連絡方法	電話でお願いします					
略歴		<p>59年生まれ。法政大学経営学部卒業後、(株)静岡銀行に入行。M&A担当などを経て、01年 創業支援施設SOHOしずおかへ出向、インキュベーションマネージャーに就任。起業家の創出と地域産業活性化に向けた支援活動が高く評価され、Japan Venture Award 2005(主催:中小企業庁)経済産業大臣表彰を受賞、企業支援の可能性に目覚める。08年 静岡銀行を退職し独立、(株)イドムを創業。富士市産業支援センターf-Biz(エフビズ)の運営を受託、センター長に就任し現在に至る。静岡市、浜松市、富士市、と静岡県内でも産業構造の違う3都市で計4か所の産業支援施設の開設と運営に携わり、1,000件以上の新規ビジネス立ち上げを手掛けた実績を基に運営しているエフビズは、国による企業支援拠点整備のロールモデルともなりそのノウハウに全国から注目が集まっている。</p> <p>関東経済産業局 新連携事業評価委員会委員(平成17年度～)</p> <p>内閣官房 地域活性化伝道師(平成19年度～)</p> <p>全国知事会 地方自治先進政策センター 頭脳センター専門委員(平成22年度～)</p> <p>経済産業省 産業構造審議会 中心市街地活性化部会委員(平成25年2月～)</p> <p>経済産業省 中小企業政策審議会 小規模企業基本政策小委員会委員(平成25年9月～)</p> <p>経済産業省 中小企業政策審議会 中小企業経営支援分科会委員(平成25年10月～)</p> <p>ほか経済産業省 中小企業政策審議会 企業力強化部会委員 並びにちいさな企業未来部会委員、関東経済産業局 地域産業資源活用事業評価委員会委員、日本商工会議所 創業人材育成事業検討委員会委員など歴任</p>				
著作・論文等		<p>『小出流ビジネスコンサルティング 日本を元気にする切り札がここにあり!』(2012年5月(株)近代セールス社)</p> <p>『次から次と成功する起業相談所 人も企業も地域も生き返らせませう!』(2011年10月(株)亜紀書房)</p> <p>『カリスマ支援家「小出宗昭」が教える100戦100勝の事業サポート術』(2009年8月(株)近代セールス社)</p> <p>『あなたの起業成功させませう!』(2006年4月(株)サイブズ)</p>				
取組概要		<p>公的産業支援施設で地域の中小企業・商店経営者、起業家などがビジネス上の課題を解決していく支援を提供することで、地域経済の活性化を目指しています。</p> <p>私の仕事は基本的にいわゆる「ビジネスコンサルティング」ですが、相談者と一緒の目線に立って考え、事業の成功を目指して戦略と戦術を共に練り、結果が出るまでチャレンジすることをモットーとしています。製造、小売、サービス、農水産業など、相談者の業種は問いません。</p> <p>前向きに取り組む事業者を地域から一人でも多く輩出することによって、まさに仕事がまわる仕組みをつくり、地域経済全体の活性化実現につなげたいと考えています。</p>				
メッセージ		<p>2001年2月から今までの14年間に、規模、産業構造共に全く異なる3都市で計4箇所の公的創業・産業支援施設の立ち上げと運営に関わり、これらの施設を核とした地域活性化に取り組んできました。拠点が変わってもパフォーマンスが落ちることはありませんでした。施設が立地する場所や、その性格(インキュベーター・中小企業支援センター)に関係なく、公的産業支援プロジェクトを成功させるノウハウを確立させた結果だと自負しています。</p> <p>活動の中核になっているのは、地域の既存事業者やこれから起業しようとしている人達が抱える経営課題を一緒になって解決する、ビジネスコンサルティング業務です。必要とされる技術をもっているのに、そのことが顧客にうまく伝わっていないことで業績が伸び悩んでいた企業に対し、「強みの見える化」につながる新サービスを企画提案したところたちまち売上をV字回復させた事例や、機械が古いせいで小ロット生産しかできず廃業を覚悟していた企業に対し、弱みと捉えていた「小ロット生産」を「強み」として打ち出す新戦略を企画提案し売上増を実現させた事例など、これまでに1,000件を超える新規事業立ち上げを支援してきました。</p> <p>2008年7月に独立し立ち上げた自社で運営を受託した富士市産業支援センターf-Bizでは、開設にあたり、それまでの経験と富士市の人口26万人というデータをふまえて、計画では月間25件程度の来場相談件数を見込んでいました。ところが開設から1年間の平均来場相談件数は130件を超え、現在は月間平均300組の事業者が訪れる施設になり、これまで寄せられた相談からは、600以上の新商品や新サービスが生まれるという、全国的にみても最も活性化した産業支援施設となりました。</p> <p>また、f-Bizの取り組みや実績に早期から着目していた県内他市をはじめ全国各地の行政や経済団体、民間企業からf-Bizのような活動を行いたいという申し出があり、09年10月に開設したながらも事業創造センターS-biz(東京都豊島区)を皮切りに、くろし起業サポート相談会k-Biz(北海道釧路市)、牧之原市中小企業個別相談会M-Biz(静岡県牧之原市)、ていだビジネスメンバーズクラブT-Biz(沖縄県浦添市)、熱海市チャレンジ応援センターA-biz(静岡県熱海市)、岡崎ビジネスサポートセンターOKa-Biz(愛知県岡崎市)などが次々とf-Bizに倣った産業支援プロジェクトをスタートし、現在も各地の行政団体がエフビズの取り組みに強い関心を持っているほか、f-Bizは国の産業支援プロジェクト「よろず支援拠点」整備のロールモデルにもなりました。</p> <p>地域の中小企業、商店経営者、小規模事業者、農業者など一人ひとりが前向きにチャレンジしようとする中で地域経済の活性化はもちろん、日本経済全体をも元気にすることができるのではないかと考えています。私たちは、産業支援施設を核とした地域活性化、地域再生の先端を走る「フロントランナー」になることを目指しています。</p>				
関連ホームページ		富士市産業支援センターf-Bizホームページ http://www.f-biz.jp/ 富士市産業支援センターf-Biz スタッフブログ			活動 エリア	0

※ 公開できる情報のみ掲載しています。
 ※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。
 ※ メール送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。